

「経済統計の改善に向けて - 四半期別GDP速報を中心に - 」のポイント

〔検討の視点〕

- ・景気指標として重視される四半期別GDP速報(総合性、国際的整合性が高い)
- ・四半期別GDP速報の位置づけ(SNA体系の一部。作成方法は確報と大きく異なる)
- ・利便性、信頼性、報告者負担の観点から、四半期別GDP速報の改善策を検討

〔四半期別GDP速報の問題点(これまで指摘されてきた事項)〕

- ・公表時期が遅い
- ・推計段階の進展に伴う改訂幅が大きい
- ・供給側統計との乖離が大きい
- ・民間最終消費支出の精度に疑問がある
- ・公的固定資本形成の基礎統計、推計方法に問題がある
- ・景気実感と乖離している



〔四半期別GDP速報の改善の現状と方向(内閣府等の取り組み)〕

- ・これまでの取り組み(公表方法、民間最終消費支出・公的固定資本形成の推計方法見直し)
- ・内閣府の検討状況(公表時期の前倒し、速報段階での供給側アプローチ活用)



〔四半期別GDP速報のさらなる改善に向けた課題〕

- ・民間最終消費支出に関する基礎統計の改善・拡充
- ・公的部門に関する基礎統計の整備
- ・簡易な設備投資調査の実施の検討(既存統計の簡素化・重複排除が前提)
- ・推計方法等に関する情報公開の推進
- ・民間ユーザー向けの説明等の充実
- ・統計活用方法の啓蒙・開発(経済統計の限界に対する認識、「名目・原系列の前年同期比」の活用、他の経済統計も視野に入れた総合判断の必要性)

〔経済統計の改善に向けた体制整備等〕

- ・主な基礎統計の企画・立案の集中化
- ・統計予算等の増強、重点配分
- ・経済統計企画・立案部局の経済政策立案部局からの隔離(チャイニーズ・ウォール)